

はなみずき

第22号

(平成27年1月号)



新年あけまして
おめでとうございます。



院長 木内利明

平成26年、師走に入り、日本に大寒波が南下し、各地で大雪の被害が出始めています。地球温暖化の影響で、太平洋の海水温度が上がり、11月にもなって、発生した台風が日本近海を通過するなど、各地で、予想外に大きな自然災害に見舞われました。また、4月から消費税が5%から8%に上がり、経済対策を積極的に行うも、市民生活は悪化しています。済生会の創立理念は、生活に困っている方に、医療を提供することです。今こそ、済生会としての役割が求められます。

平成26年度は、日本の医療提供体制が大きく変わり始まる年になりました。地域で、患者さんに医療を提供する場合、急性期治療を受けた後、回復療養や、リハビリを行い、そして、在宅での生活に戻ることをめざします。また、在宅に戻るまでの期間も設定されています。このように、地域で医療を完結する地域包括ケア体制を構築するために、病院間の連携、かかりつけ医との情報交換が重要になります。高齢化していく人口構成のなか、将来大きな比重を占める疾患が想定され、豊能2次医療圏、および、吹田市においても、今後必要とされる医療の質と量も試算されています。当院が担うべき医療は、高度な3次救急をはじめ、救急医療を中心として、地域の急性期医療と思います。また、地域医療支援病院である当院の役割は、このような医療提供体制の流れのなかで、さらに重要になり、地域の他の医療機関との連携を密にして、信頼される病院にしていきます。

当院の理念である「心のこもった医療」を行うべく、職員一同は、安心して、安全な医療を提供して、地域住民の方、また、医療関係者の方から、良い評価をされるように、さらに努めていきます。

今年も、よろしく、お願いいたします。



当院ご利用案内

診療受付時間

☆月～金曜日 8:30～11:30 12:30～14:30
 ☆土曜日 8:30～11:30
 ☆休診日 日、祝、12/31、1/1、1/2、1/3(年末年始)
 ・学会・出張等で、担当医師が休診又は代診となる場合があります。 予めご了承下さい。

初診の方で紹介状をお持ちでない方には、別途保険外併用療養費として、3,240円いただきます。
 歯科・口腔外科、耳鼻咽喉科、心療内科、神経内科への受診は、予約の上紹介状が必要となります。
 詳しくは当院ホームページの外来診療のご案内をご覧ください。

医療相談窓口

患者さんやご家族の方々から下記のような様々なご相談をお受けしています。
 誰に相談していいかわからないことがあれば、まずは医療相談窓口にご相談ください。

- (1) 医療に関すること
- (2) 当院での受診に関すること
- (3) 病院に対するご意見、ご要望、苦情等に関すること
- (4) 個人情報保護に関すること
- (5) 医療安全に関すること

なお、医療相談窓口でお受けしたご相談内容でご希望があれば、日時を調整の上当院の第三者委員を交えて相談することができます。

Dr.(ドクター) 紹介

当院の大腸がん・肛門疾患治療の特色

～早期回復プログラムのご紹介も含めて～



外科副部長 真貝 竜史

当院の大腸がん手術症例数は、ここ数年間は年間100例前後を推移しています。ピンときにくいですが、大腸がん手術で年間100例という数字は、積極的に治療を行っている地域中核病院の一つとする目安と判断しております。直接当院にご相談に来てくださる患者さんとともに、地域の開業医の先生方からご紹介いただき、ご期待に添う治療を提供できることをご評価いただいて初めて成り立つものと感じております。大病院では手術枠を拡充して手術数を伸ばしておりますが、「術後の体調の相談をしたいが、急に相談ができない」「検査予約がなかなか入らない」といった患者さんのご不便をおかけしないように工夫しやすいのが、当院のような地域病院の強みです。

大腸がんの手術では、一般的に術後10日から2週間ほどの入院期間が想定されます。手術前後にはどうしても安静や食事制限の時期がありますが、多くの症例に対して、

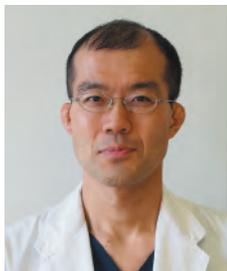
最小限の制限で安全に、早く回復していただくプログラム（ERAS：イーラス、と読みます）を実践しております。術後1週間で退院を検討できる方もおられ、「早く日常生活に戻れてよかった」というご感想をいただいています。大腸がんの治療には手術の他に、進行度によっては抗がん剤治療の併用が推奨される場合もあります。抗がん剤治療も当科で一貫して行い、他施設へ通院をお願いするような面倒なことはありません。

一方、いば痔・切れ痔・痔ろうや、直腸が肛門から脱出する直腸脱のような疾患でお困りの方は多いのですが、いざ手術治療になると受け入れ可能な病院は限られてきます。当院ではこの領域も、大腸肛門外来を窓口にご相談をお受けしております。

【プロフィール】
平成9年 大阪大学医学部医学科卒業
平成17年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程卒業

市立吹田市民病院、大阪大学医学部附属病院、米国ジョンウエイン癌研究所留学、近畿大学医学部奈良病院、大阪府立成人病センター医長を経て、平成25年から大阪府済生会千里病院に勤務

褥瘡(じょくそう)対策チームについて



外科副部長(褥瘡対策チームリーダー)
豊田 泰弘

褥瘡という言葉をご存知でしょうか。ももとは体重の集中する部位と寝具などに挟まれた皮膚組織が圧迫されて血の流れが悪くなり、皮膚やその下にある組織が死んでしまうキズを言います。俗に「床ずれ」と言われ、古くから知られた病態です。医療現場では寝具に限らず、チューブやギプスなどの医療器具で圧迫されて生じたキズもあわせて褥瘡と呼んでいます。ご高齢の方、寝たきりの方、重症の方に発生することが多いです。

褥瘡の治療は、原因となった体にかかる圧力を取り除き、キズを清潔に保ち、傷んだ皮膚や皮下組織を除去し、治りやすい環境を整えることが基本です。褥瘡は患者さんの病状からやむをえない発生もありますが、その一方で、予防の余地の大きい疾患です。

済生会千里病院では千里救命センターを併設していることから重症の方が多く、褥瘡の予防と治療は大事な仕事のひとつです。千里病院に入院されたときにすでに褥瘡を持っておられる患者さんも多く、院内には常に5人～15人程度の褥瘡患者さんが入院されています。

褥瘡の予防と治療は医師のみでは成り立たず、看護師、薬剤師、管理栄養士などを含めた多職種協同によるチーム医療が必要不可欠です。特に予防の面では医師の出番

はほとんどなく、看護師のケアが重要です。当院の褥瘡対策チームでは週に1回の回診とカンファレンス、月に1回のチーム会を行い、院内の褥瘡対策に奮闘しています。院内褥瘡患者ゼロが私たちの願いであり、究極の目標です。

これから超高齢化社会を迎え、褥瘡の予防と治療はますます重要性を増してゆくと考えられます。褥瘡が完治に至らない状態で転院や退院となる患者さんもおられますので、医療機関のみならず、在宅医療や介護施設との連携も確実にする必要があります。今後チームが協同して褥瘡対策に努めてゆきたいと考えています。



【プロフィール】

平成11年 神戸大学医学部医学科卒業

神戸大学医学部附属病院、兵庫県立淡路病院、東大阪市立総合病院を経て、平成16年から大阪府済生会千里病院に勤務

えいようだより eiyo-dayori

お餅をアレンジ

餅巾着と野菜の煮物&苺大福

お正月には、かかせないお餅ですが、お餅はもともとお正月や祝い事等の「ハレの日」のための特別な食べ物でした。お餅の主な栄養は糖質(炭水化物)で、重要なエネルギー源であり、また手軽に栄養補給できる食品でもあります。



栄養科 管理栄養士 喜多 茉莉子

■ 餅巾着と野菜の煮物

《材 料》(1人前)		【エネルギー:282kcal 塩分0.5g】	
油揚げ	1/2枚	干し椎茸	1枚
かんぴょう(乾燥)	5g	だし	カップ1・1/2
丸餅	1/2個	砂糖	小さじ1
大根	80g	みりん	小さじ2
金時人参	6g	酒	小さじ2
いんげん	20g	薄口醤油	小さじ2

《作り方》

- 油揚げは菜箸を上のにのせて押しながらかし、長さを半分 に切って袋状に開き、油抜きをする。

- ☆ポイント：油揚げの中に詰め物をする場合、油揚げの上から菜箸をのせて押しながらかすと油揚げは開きやすくなります。
- かんぴょうはさっと水洗いをし、少し塩をふりかけてよくもみ洗いし、水で塩を流す。沸騰したお湯にかんぴょうを入れ、かためにゆでる。ゆで終わったら、軽く水洗いをし、水気を切る。
 - 丸餅1/2を①の油揚げに入れ、かんぴょうで口を縛る。残ったかんぴょうは結んでおく。
 - 大根は皮をむいて、4cm厚さくらいの輪切りにしてから1/4に切る。竹串がスーッと通るまで下ゆでをする。金時人参は皮をむいて4mm厚さくらいの輪切りにして、花形に抜き、下ゆでをする。いんげんは筋を取って下ゆでをし、斜め半分に切る。あらかじめ干し椎茸は水で戻しておき、石づきを除く。
 - 鍋にAの調味液を入れ、餅巾着、結んだかんぴょう、大根、干し椎茸を入れて中火にかける。沸騰したら蓋をして弱火で約15分間煮る。
 - ⑤の鍋に金時人参、いんげんを加え、再び蓋をして火が通るまで煮る。

■ 苺大福

《材 料》(3個分) 【1個あたり エネルギー132kcal 塩分0g】

苺	3個	砂糖	小さじ1
丸餅	2個	片栗粉	適量
白あん(市販のもの)	90g		

《作り方》

- 苺は洗ってヘタを取り除き、白あんで包む。
- 丸餅を1/4に切り、深めの耐熱容器に入れる。餅が隠れる程度の水を入れて、電子レンジ600Wで約3分間加熱する。餅が柔らかくなったら、お湯を切り、砂糖を加えて木ベラでしっかり練る。さらに電子レンジ600Wで約20秒間加熱する。
- ②を片栗粉をたっぷり敷いたバッドに入れ、3等分する。
- 手のひらで餅を丸く広げ、①をのせて包む。

新任Dr. 紹介

平成27年1月から、お二人の新任医師をお招きしました。 宜しくお願いたします。



循環器内科部長 廣岡慶治 【専門領域】循環器内科(特に虚血性心疾患に対する冠インターベンション)

【プロフィール】平成3年 徳島大学医学部卒 大阪大学医学部付属病院、大阪府立病院、国立療養所北潟病院、国立循環器病研究センター、国立病院機構大阪医療センター循環器内科医長を経て、平成27年1月から当院に勤務
【資格認定】日本内科学会 認定内科医・研修指導医 / 日本循環器学会 認定循環器専門医 / 日本超音波医学会 認定超音波専門医・指導医 / 日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医 / 日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医 / 身体障害者 福祉法指定医(心臓機能障害)



呼吸器内科副部長 古川 貢 【専門領域】呼吸器内科

【プロフィール】平成10年 大阪大学医学部卒 平成19年 大阪大学大学院医学系研究科卒 大阪大学医学部付属病院、府立羽曳野病院、済生会千里病院、塩釜市立病院を経て、平成27年1月から当院に復帰
【資格認定】日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 / 日本呼吸器学会専門医・指導医 / 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医 / 日本医師会認定産業医



無料低額診療事業の相談について(ご案内)



当院は社会福祉法人の病院であり、社会福祉法に規定された経済的な事情により必要な医療が受けられない人々に対して適切な医療を受けることができるように支援することを目的とした無料低額診療事業を行っています。

「急な入院で支払いができない」「介護もしているの、費用負担が重い」「非課税世帯で収入が少ない」「障害者手帳を持っていて医療費助成制度の対象になっている」など医療費の負担ができないといった相談を具体的に解決していきます。また、さまざまな保険制度に関することや医療費の支払いに関する相談も受け付けています。相談は、産科・婦人科の奥にある福祉相談室にてソーシャルワーカーが承っています。

このほか「介護が必要になりそうだが、どうしたらいいかわからない」「がんで治療をしているが、今後のことについて情報提供してほしい」「離れて暮らしているの、一人暮らしの父親のことが心配だ」などの生活に関する相談も受け付けています。

■ 福祉相談室受付時間:平日 10時~16時・土曜 10時~12時(受付状況によりお待たせする場合がありますが、ご了承下さい。)

第9回
認定看護師の紹介
Introduction

乳がん看護
認定看護師



若林 由紀子
認定看護師

乳がん看護認定看護師の資格を取得して、2年目を迎えました。近年乳がん患者さんは増加しています。国立がんセンターがん対策情報センターによると乳がんを発症する患者さんは18人に1人と言われており、女性が発症するがんでは第1位となっています。また、発症年齢は20代から発症する可能性があり好発年齢は40～50歳と言われています。

このような状況の中で平成18年に誕生したのが「乳がん看護認定看護師」です。乳がん看護認定看護師の役割として ①診断(病名告知)後の心理的サポート②治療選択(意思決定)のサポート ③様々な治療に伴う看護、ボディイメージの変容へのサポート ④リンパ浮腫の予防、⑤症状緩和に向けてのセルフケア支援があります。乳がんの治療は手術療法・抗がん剤治療・ホルモン剤治療・分子標的治療・放射線治療それぞれの治療を複合的に組み合わせ患者さん1人1人に応じた治療を行います。しかし、多くの治療から自分が納得できる治療を選択することは簡単ではありません。患者さんが医師から提示された治療を納得して受けられるよう患者さんと一緒に考えていくことが私の一番大切な仕事だと思っています。

乳がん治療の多くは外来で行われていることもあり、10月から一般外来に異動となりました。普段は一般外来の看護師として勤務していますが、第1、3月曜日の全日と第2、4、5月曜日の午後に乳腺外来と併設して乳がん看護認定看護師として活動を行っています。病棟と外来を横断的に移動して、入院中の患者さんが安心して退院できるよう、外来の患者さんが安心して入院できるよう、そして、外来の患者さんが安心して日常生活を送りなが

ら治療を受けられるよう看護していきたいと思っています。当院にはプレストケアチームがあります。患者さんの治療方針の選択、一般向け勉強会(乳がんの情報発信)などを行い乳がん患者さんだけでなく、地域住民の皆様への乳がんに対する意識向上に努めていきたいと思っています。当院のプレストケアチームのメンバーと協力しながら、患者さんを中心とした医療・看護を提供していきたいと思っています。



※SW(ソーシャルワーカー)

ひとくち
メモ

認定看護師とは

認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野(現在21分野)において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護実践のできる者をいう。

認定看護師の役割

認定看護師は、看護現場において実践・指導・相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることに貢献する。

- ・実践：特定の看護分野において、個人、家族及び集団に対して、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。
- ・指導：特定の看護分野において、看護実践を通して看護者に対し指導を行う。
- ・相談：特定の看護分野において、看護者に対しコンサルテーションを行う。

認定看護師になるには

看護師の免許取得後、実務研修が通算5年以上。(うち3年以上は認定看護分野の実務研修) → 6ヶ月、615時間以上の認定看護師教育機関通学 → 筆記試験に合格を経て認定看護師に登録をすることができる。(更に5年ごとの更新がある。)

乳がん看護認定看護師について

集中的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援
ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援
本年12月現在の登録者数は、大阪府で15名

(参考資料:日本看護協会のホームページ)

乳腺疾患勉強会

乳がんの治療ってどんな?なんて考えられたことはありませんか。

今回は医師と薬剤師から薬物療法について説明します。治療法は日々進んでいます。新しい薬剤も開発・市販されています。今回は、現在の標準的な薬物療法について、初めての方にもわかりやすく説明します。また乳がん看護認定看護師、女性の検査担当者もいますので分からないことがあればお気軽に質問にもお答えします。

日時 平成27年3月7日(土曜)

14時から15時30分

演題 「最新の乳がんの薬物療法って?」

吉岡節子 外科部長

「わかり易いー乳がんの薬について」

松岡由記 薬剤師

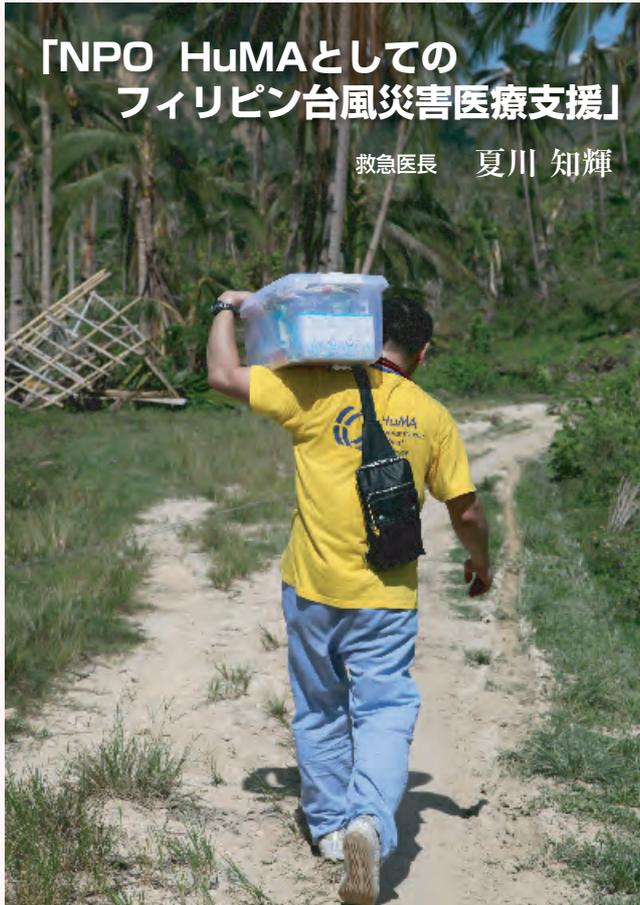
場所 病院東館 3階 開発室

医療の提供の結果に関する事項 (厚生労働省「医療広告ガイドライン」に準拠)

項目	単位	H25年 10月	11月	12月	H26年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新入院患者数	人	850	804	800	810	741	779	785	771	809	825	838	800	814
退院患者数	人	848	817	853	733	735	801	793	789	790	826	862	792	795
入院延べ患者数	人	9,793	9,176	9,479	9,470	9,131	9,942	9,507	8,888	8,705	9,008	9,402	8,907	9,156
1日平均在院患者数	人	315.9	305.9	305.8	305.5	326.1	320.7	316.9	286.7	290.2	290.6	303.3	296.9	295.4
平均在院日数	日	10.5	10.3	10.2	11.1	11.0	11.2	11.5	11.2	10.6	10.6	10.9	10.9	11.3
手術件数	件	295	259	297	269	268	283	306	269	312	315	290	275	324
1日平均外来受診患者数	人	543.0	546.3	573.2	563.0	539.6	511.1	525.8	531.4	536.7	523.8	490.5	538.2	538.6

※病床数343床、のうち救命救急センター43床

当院の活動紹介



「NPO HuMAとしての
フィリピン台風災害医療支援」

救急医長 夏川 知輝

今回、私はNPOHuMAのメンバーとしてフィリピン台風災害医療支援に参加しました。

HuMAは国内外を問わず大きな災害に苦しむ人々を救援することを目的に、2002年に設立された、会員数468名（医師99名、看護師177名、その他192名）のNPOです。

HuMAはJDRと比べると予算規模も小さく、今回の医療支援のチーム構成は医師2名、看護師0～2名、医療調整員0～1名との最大でも5名の規模で活動をしていました。HuMAはレイテ島オルモック近郊のメリダという町で医療支援活動を行いました。メリダ

には22の村があり、村々を訪問し診療活動を行いました。

私は平成25年12月8日から12月16日まで第3次隊として派遣されました。第1次隊、第2次隊は人口の多い海沿いの村々で診療を行っていました。私の第3次隊からは人口は少ないがアクセスが悪く、医療の手が届いていない山間部の村々で診療活動を行いました。町の中心部から山間部の村までは10km程度の距離ではありますが、4WDの車でしか通れない道がほとんどで、アクセスは非常に困難でした。時には電柱が倒れ、道が川でえぐられて細くなっていたり、道に川が現れたりして、車ではアクセスできず、医療資器材を肩に担いで徒歩で4kmの山道に行くということもありました。

受診された患者さんは台風で怪我した傷だとか、その後に発症した風邪の方が中心でした。

人員の少ない中で1日に90名近くの患者さんに対して診療を行うために簡単な会話は現地の言葉で行いました。現地の言葉で診療を行うと、早いだけでなく、受診された患者さんがにこやかになるという効果がありました。

訪問診療を行わない日は地域の後送病院の見学に行きました。後送病院であるオルモック・ディストリクト・ホスピタルはかなり被災しており、特別な治療が出来る状態ではなく、診療の中心は研修医のドクターでありました。そんな中、山奥の村からオルモック・ディストリクト・ホスピタルに搬送したおばあさんに再会し、おばあさんとその家族から感謝の言葉をいただきました。

台風災害での医療ニーズ、復興への道筋など、今後の災害対策を考える上で重要な経験をさせていただきました。最後に派遣をサポートしていただいた職場の仲間、NPOHuMAの関係者の方々にお礼を申し上げます。

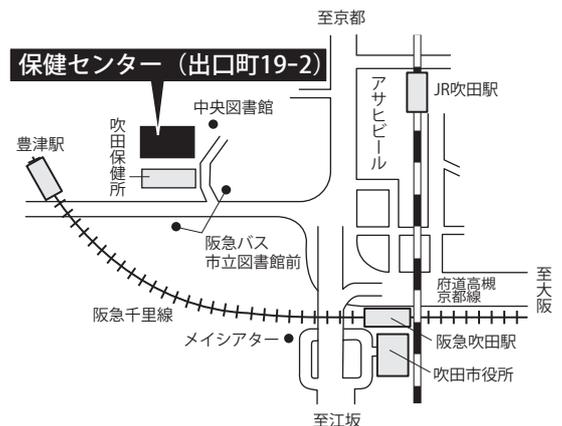


休日急病診療所が移転

平成27年2月22日から保健センター内へ

現在、千里病院 東館(地下1階)で開所している吹田市立休日急病診療所(TEL:6834-5871)は、平成27年2月22日(日)に吹田市出口町にある保健センター4階に移転します。

診療科目は内科、小児科、外科、歯科で、診療日は日曜日、祝・祭日、年末年始です。
よろしくお祈いします。



行事予定

済生会千里病院

平成27年
1月～3月

※変更になる場合があります。
予めご了承下さい。



■ 糖尿病教室

【日時・演題】 1月5日(月) 「糖尿病と動脈硬化」「糖尿病と心臓病」
2月2日(月) 「糖尿病と心血管疾患」
3月2日(月) 「糖尿病のまとめ」

※いずれも13:00～14:00

【開催場所】 病院東館3階研修室 【お問い合わせ】 栄養科 06-6871-0121内線208

■ 心臓病教室

【日時】 毎週水曜日 11:30～

【開催場所】 病院4階 心臓リハビリテーション室

【お問い合わせ】 心臓リハビリテーション室 06-6871-0121 内線680

■ 母親教室(※要予約)

助産師が妊娠後半期のマイナートラブルや分娩経過・入院方法について分かりやすく説明しております。
ご家族の参加もお待ちしております。

【日時】 毎月2回(第1木曜日・第3土曜日)

【開催場所】 病院3階デイルーム 【お問合せ先】 産婦人科外来 06-6871-0121

■ 乳腺疾患勉強会

【日時・演題】 3月7日(土) 14:00～15:30

「最新の乳がんの薬物療法って?」「わかり易いー乳がんの薬について」

【開催場所】 病院東館3階 開発室 【お問い合わせ】 入退院管理室 河野 06-6871-0121

セカンド・オピニオンについて

他院の病院で治療を受けている方が、当院の医師に意見を聞きたいというご希望に答える為に、セカンド・オピニオン外来を行っております。

【お問合せ】

1階総合受付カウンター (医事課)

患者さんへのお願い

- 療養環境向上の為、敷地内禁煙となっておりますのでご理解いただきますようお願いいたします。
- 携帯電話のご利用は「携帯電話エリア」にてお願いします。なお職員が使用しております携帯電話(赤色ストラップ付)は、一般の携帯電話とは異なるものです。

卒後臨床研修病院について

当院は臨床研修医に対する教育病院(臨床研修病院)です。
指導医の指導の下、日々研鑽を積みながら患者さんの診療に当たっております。
臨床研修医に対し、お気付きの点があれば、何なりとご意見をお寄せ下さい。

済生会千里病院の理念

「心のかもった医療」

基本方針

私たち、済生会済生会千里病院の職員は、

- 1.窮境にある人々の医療を積極的に支援します。
- 2.安全で良質な医療を心をこめて提供します。
- 3.医療の透明性とアカウンタビリティ(説明責任)に忠実である病院を実現します。
- 4.地域の中核病院として、また救急医療を含む急性期医療の実践により地域医療に貢献できる病院を実現します。
- 5.常に研鑽を積み、最高、最適の医療を追求します。

職員の信条

私たち職員は、患者さんのために、地域のために、心をこめて最高最適の医療を提供します。

患者さんの権利と責務

(患者さん-医療者のパートナーシップの強化)

- 1.どなたにでも常に人格を尊重し、良質で安全な医療を公平に提供します。
- 2.あなたの病気やその診療について、わかりやすい言葉で詳しく説明をするよう努めています。もし、わからないところがあれば質問してください。
- 3.あなたが、気になること、疑問に思うこと、希望することなど、遠慮なくご相談下さい。
- 4.他の医師の意見(セカンド・オピニオン)や他の医療機関に転院を希望される場合は、おっしゃってください。
- 5.治療方法などをご自分の意思で決めていただけるよう、十分な説明と情報提供を行います。
- 6.診療の過程で得られた個人情報の秘密を守ります。また、院内での私的な生活が、可能な限り他人にさらされず、乱されないように努めます。
- 7.良質な医療を提供するため、あなたの健康に関する情報をできるだけ正確に伝えていただくようお願いいたします。
- 8.すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの診療に支障をきたさないよう、ご配慮をお願いします。
- 9.お互いに理解を深め、ともに治療を進めていきましょう。

個人情報保護方針について

個人情報保護法の趣旨を尊重し、患者さんの個人情報を厳重に管理し、これを担保するために「個人情報保護方針」「個人情報保護規程」「個人情報保護計画」を定めております。



地域医療支援病院
社会福祉法人

恩賜財団 **大阪府済生会千里病院**

(編集・発行) 広報ホームページ委員会・経営企画課

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号 TEL.06-6871-0121(代)

ホームページ <http://www.senri.saiseikai.or.jp/>

■ 本紙についてのご意見・ご感想などございましたら、下記までお寄せ下さい。

E-mail: hanamizuki@senri.saiseikai.or.jp (右のQRコードからもアクセスできます)

